

## 第 13 回議会報告会 報告書

地 域 名	口大屋地域		
年 月 日	平成 27 年 10 月 22 日 (木)	会 場 名	口大屋コミュニティセンター
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 12 分
参 加 数	男性 7 人	女性 0 人	合計 7 人
班 長	深澤 巧	司 会 者	深澤 巧
報 告 者	水野雅広	書 記	西村禮治
班 員 名	深澤 巧、西村禮治、竹浦昭男、水野雅広		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	①特区のことで信用保証制度とは何か。	①県の信用保証協会の融資保証制度で、農業事業を営む商工業者に対しても新たに特区制度の中で実施されるものである。現在 2 社が適用されている。	
	②八鹿病院からまず診療所へ行けと言われ、信頼度が薄れつつある。赤字経営も続いているがどうするのか。	②病診連携があり、患者は開業医等を通じ病院を紹介してもらう。今年度の赤字は八鹿病院が 5 億。報告額は村岡病院や老人保健施設などの総額である。現管理者と院長でスムーズな組織系統が整備され、改善傾向にある。現預金残高は 40 億円あり、経営面で手遅れとは思わない。その他市民説明にも力を入れるよう、病院組合議会でも監視していく。	
	③森林、林業関係や人口減少問題で重なった一般質問が行われていた。調整できないのか。	③テーマが重なることはあるが、通告後は訂正できない。先に質問した議員と違った観点から行うことが大事である。当該議員同士で調整はしている。	
	④人口減について議会はどのように考えているのか。提案型の質問ができないのか。	④人口増より維持することに視点を置くべきである。給付型の一時的な政策では限界がある。特区での農業生産法人の雇用に期待している。受け入れる土壌（歓迎）が地域にあることが大事である。村でできないなら自治協議会で取り組むことだ。	
その他（提言など）	①議員定数を削減しないのか。広報紙より議会の生中継をなぜしないのか。	①議員数が減れば十分な議論が成り立たず議会の機能を低下させる。市民団体等の意見を聞いて定数や報酬のあり方は検討する。議会放送についてもネットでどのような配信ができるのか検討している。	
	②耕作放棄地を農業生産法人に紹介したがその後の経過を知りたい。	②農業委員に聞いていただいたらどうか。	

市 民		対 応
その他 (提言など)	③10月は区長配付以外に2件の回覧配付を頼まれたが、頻繁で苦情が出ている。調整できないのか。	③担当課に伝える。
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成27年11月10日

報告者 3班 班長 深澤 巧

